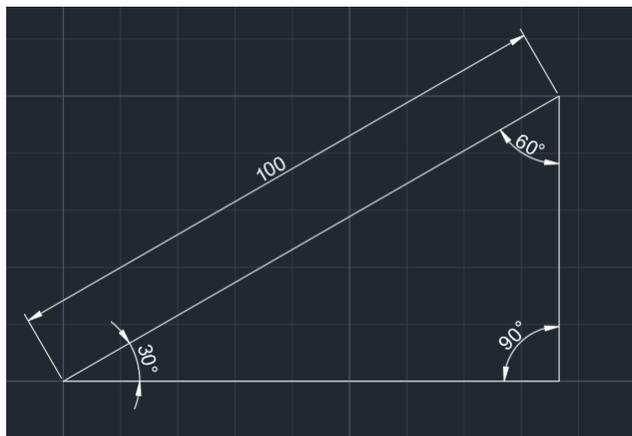


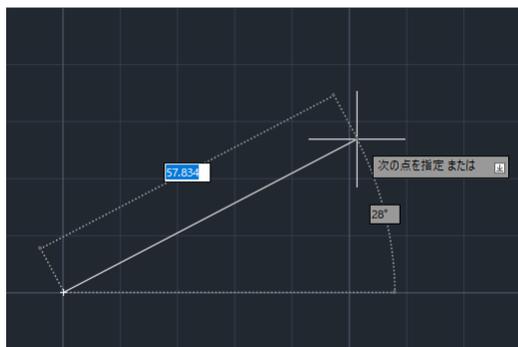
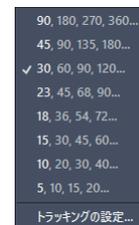
## 極トラッキングと極スナップ (その1)

### 極トラッキングを利用して「鋭角30° 斜辺の長さ100mm」の直角三角形を描く

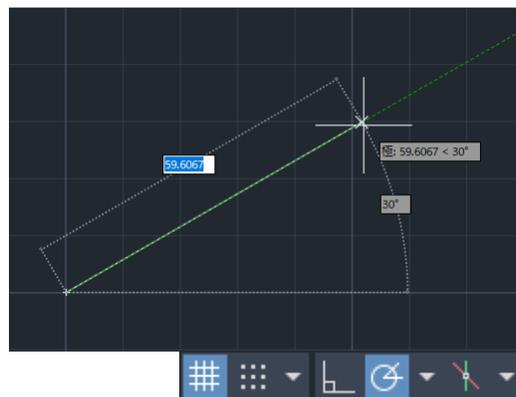


左図のような「鋭角30° 斜辺の長さ100mm」の直角三角形を極トラッキングを用いて描いてみましょう。

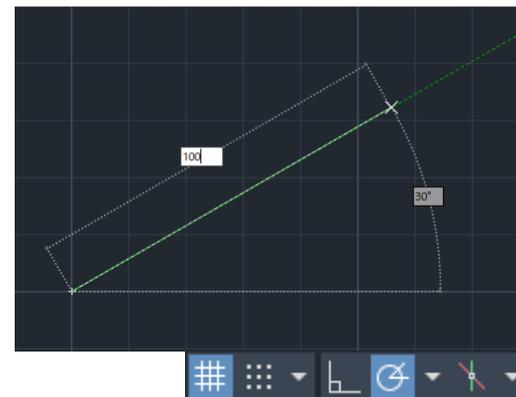
前提として、極トラッキングの角度の増分を30°に設定済みとします。(ステータスバーの  (右クリック)、または、隣の  から表示したプルダウンメニューの「30, 60, 90, 120...」にチェック)



① ポリラインにて 鋭角の頂点を (0, 0) にポイントし、カーソルにて斜辺の反対側を探します。

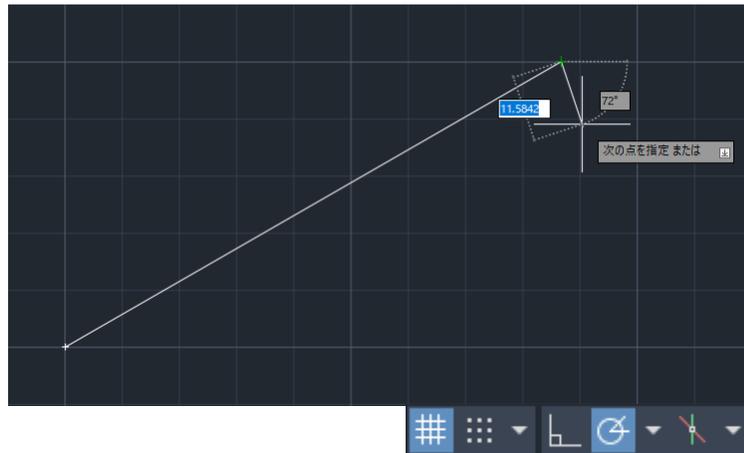


② カーソルの位置が角度30°になると位置合わせパス(トラッキングベクトル)が表示されます。

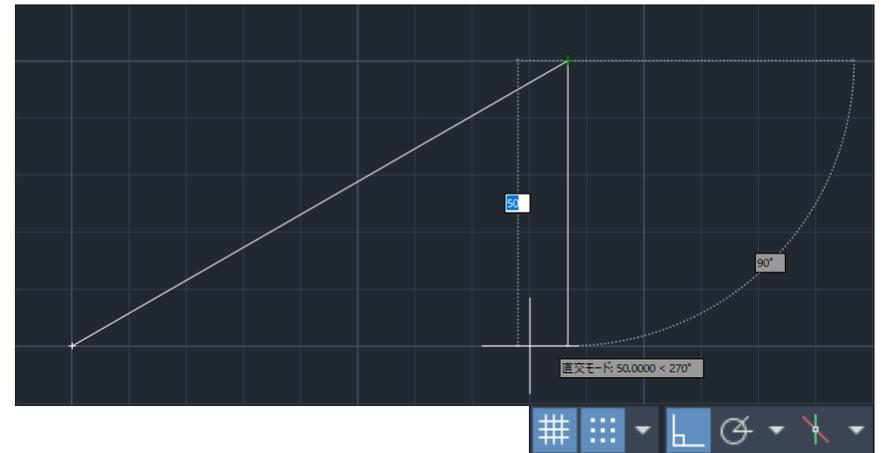


③ この状態で、斜辺の長さ100を入力して「Enter」。

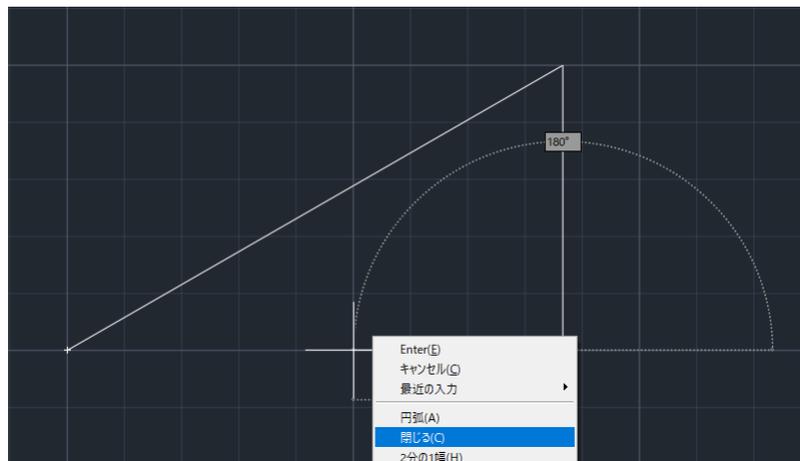
## 極トラッキングと極スナップ (その2)



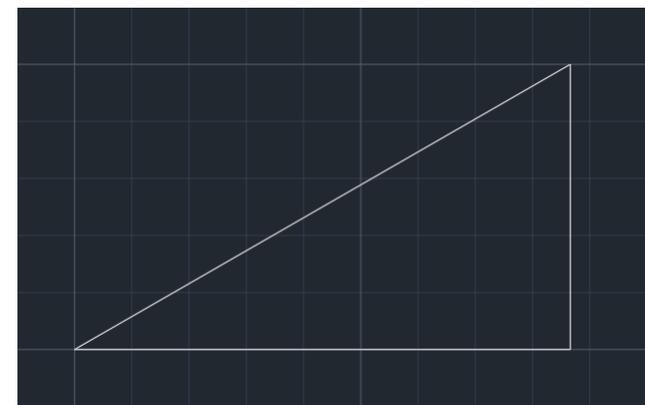
④ 角度 30°、長さ 100 にて斜辺が描かれると、次の点の指定を求めるプロンプトが表示されます。



⑤ 直交モードに切り替え、スナップをオンにしたのち垂直線部分を描きます。(端点は、Y座標 0 にスナップされます)



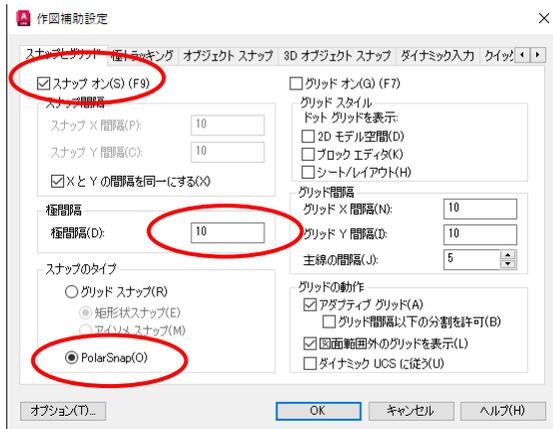
⑥ 右クリックメニューから「閉じる」を選択し、底辺を描きます。



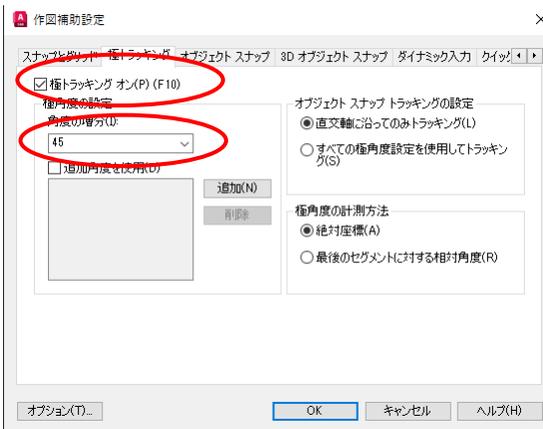
⑦ 「鋭角 30° 斜辺の長さ 100 mm」の直角三角形が完成しました。

## 極トラッキングと極スナップ (その3)

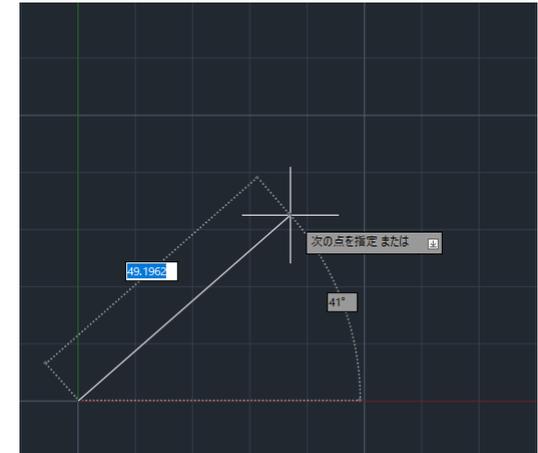
### 極スナップとは・・・



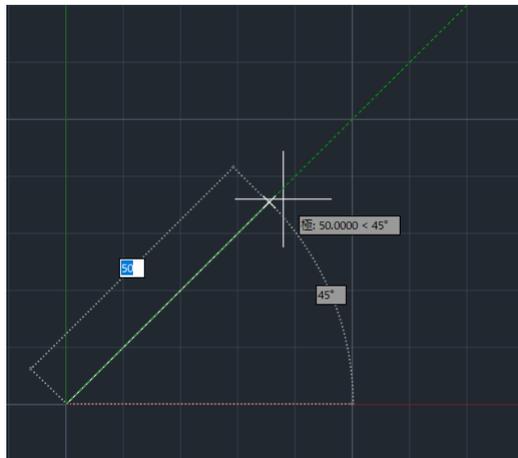
① スナップ：オン、極間隔：10、スナップのタイプ：PolarSnap に設定



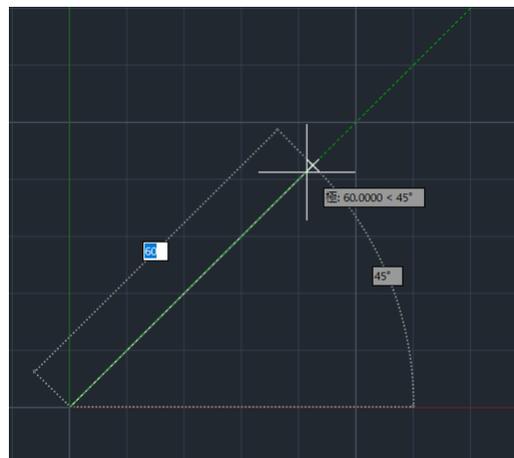
② 極トラッキング：オン、角度の増分：45° に設定



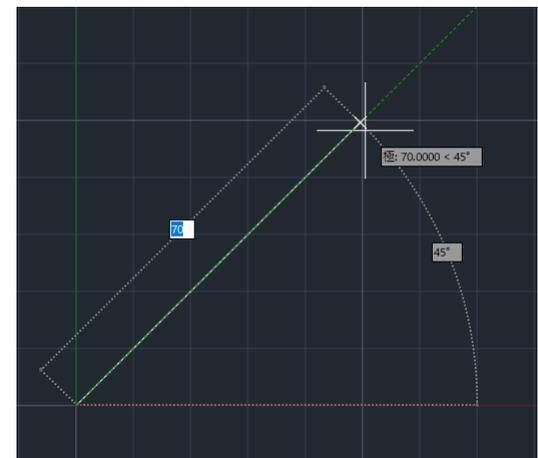
③ 座標 (0, 0) を始点として、線分を描きます。次の点の指定をを求めるプロンプトが表示されます。



④ カーソルが、極角度45° に近づくと、極座標 50 < 45° にスナップして吸着されました。(距離の値はカーソルの位置により近い「極間隔 10 の倍数」になります。)



⑤ 位置合わせバスの (トラッキングベクトル) に沿ってカーソルを右上に移動していくと、今度は極座標 60 < 45° にスナップします。



⑥ さらに移動していくと、今度は極座標 70 < 45° にスナップします。このような動きを「極スナップ」と言います。